上内ふれあい

まち協
１６号

発行責任者　上内校区まちづくり協議会会長　井上 光博
編集　上内校区まちづくり協議会広報部会
令和３年10月13日発行

児童たちが学校PR



児童たちがＰＲする学校紹介ＤＶＤ

上内小はいいところ　オープンスクール開催

児童減少傾向を不安視し、「なんとか学校を守ろう」と、上内小学校は全児童が自分たちの声で学校のいいところをアピールするＰＲのＤＶＤを作った。それに、初めての試みとしてオープンスクールを開いている。

同校は児童減少が続き、吉野小学校との統廃合も検討されたが、自然環境に恵まれ、学習環境にも優れていることから、十年ほど前から通学区域を越えて市内全域から入学・転入学を認める小規模特認校制度が導入されている。今では、入学児童の半数ほどが校区外から通っている。

それに「ふれあい運動会」「こども相撲大会」「通学合宿」など地域と一緒に活動することも多く、絆（きずな）を深めている。地域に見守られ、自然環境の良さで小規模校ならではの、きめ細やかな教育ができるといえる。

だが、現在児童数は五十五人で、来年度は三年生以下が十人未満となることで存続に不安を抱いた学校は上内小学校をＰＲしていくため、ＰＲのＤＶＤとオープンスクールの開催を決めた。ＤＶＤは、六分ちょっとの時間に全児童が学校の良いところを発表。それを市内全部の幼稚園と保育園にチラシと一緒に配布。また、同校のホームページで見ることができる。

オープンスクールは十月四日から同月二十九日まで。学校見学や授業参観、希望者は体験授業もできる。個別相談もあり、学校説明会は十月二十二日と二十九日。いずれも、午後四時から。

見学希望や問い合わせなどは、上内小（電話五八ー〇一〇三番）

「ながら防犯」募集中
～上内っ子の未来のために～

上内校区まちづくり協議会の構成団体のひとつである教育力向上推進協議会（会長　井上光博さん）。

おもな活動のひとつに「朝の挨拶運動」があります。防犯チョッキと帽子を着用し、月四回の朝、児童たちの通学の時間帯に上内小学校正門前をはじめ、通学路の所どころに、同協議会の幹部の方々が立ち、児童らへの「挨拶」兼「見守り」運動を行っています。上内校区の通学路の中には、ひとけの少ない所や危険な場所もたくさんあります。同協議会では、上内っ子たちの安心安全対策の一環として、地域住民の皆様に「ながら防犯」していただける方を募集しています。朝のお散歩の時など、上内っ子たちの通学路へ立ち寄っていただき、通学途中の子どもたちを見守ってくだされば幸いです。

防犯チョッキと帽子は上内小学校に保管してあります。上内っ子たちの笑顔と元気な挨拶で、今日も一日元気パワーをもらいましょう！

お問い合わせは上内小まで



上内小学校正門前のあいさつ運動の様子

「あいさつ運動」
毎月1日・8日・15日・20日
（休日の場合は次の通学日）
朝7時40分～8時10分頃まで

皆様のご協力よろしくお願いします。



上内校区防災は

地元防災士が説明 共助の強化が必要



大牟田市上内防災士の境繁さん、上原雅弘さん、境勇英さんの三人が七月に上内小ふれあいホールでまち協運営委員たちに「上内校区防災」について説明した。令和二年七月の豪雨被害の爪跡などを紹介し、上内に必要なことは災害時の近隣地域住民同士の助け合いと顔の見える関係づくり（共助の強化）を挙げた。

防災について説明する上内防災士たち

まず、日本の災害で、阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨などを紹介。防災とは災害を未然に防ぐために行われる取り組みであるとし、自助（自ら対応する）・共助（ご近所などの協同体で助け合う）・公助（消防や自治体に助けてもらう）があるとし、市民は「公助」が機能することを期待するが、災害が深刻であるほど「公助の機能は低下するとされる。そのため「自助」「共助」の重要性は高いという。

上内については、地形や現状（面積、世帯数など）椛地区、四ケ、上下坂井・岡地区の土砂災害を例に挙げ、土砂災害から身を守るための三つのポイント（土砂災害ハザードマップ利用を、土砂災害警戒情報に注意を、早めに避難を）を挙げた。それに、避難レベルの変更や避難レベルのポイント、上内校区の避難行動時問題点として、避難時の連絡、避難ルート、避難場所をどうするか、などを挙げている。

校区内一斉掃除

八月八日　早朝より草刈機等で掃除を行いました。暑い中皆さんお疲れ様でした。お陰で校区内が綺麗になりました。





道の駅で献血会 ２８人が申込み協力



大牟田市愛の献血推進協議会主催の献血会が七月八日に道の駅おおむた駐車場であり、二十八人が申し込み、そのうち二十二人から採血が行われました。献血協力者は減少傾向にあり、同協議会は協力を呼び掛けています。

上内校区での献血は毎年道の駅で行われているが、昨年は雨の影響で中止。今年も雨模様だったが、実施された。一昨年は四十人が協力を申し出て、そのうち、二十七人から採血されており、献血協力者は減少傾向が続いている。上内校区でも高齢化の進展などで、協力者は減りつつある。ここ二年は連続で新型コロナウイルス感染拡大や豪雨が影響している。「血液は保存期間も短く、献血の継続的な取り組みが必要。病気などで苦しまれる患者さん、ご家族の方の笑顔のためにも献血に協力を」と同協議会。

上内校区社会福祉協議会からのお知らせ ご寄付ありがとうございました

令和三年度七月
・上坂井公民館　境　真士夫様（故　中鋪　ミドリ様）

上内校区社会福祉協議会へのご寄付・ご協力よろしくお願いします。

皆様からお寄せいただいた善意は、広く上内校区の社会福祉事業に役立てさせていただきます。

ご寄付につきましては、ご連絡いただきますとお伺いします。

●お問い合せ先
社協会長　古賀和信　ＴＥＬ　五八－三七五一